

## Technical Information

# 水溶液型銀系抗菌剤・抗ウイルス加工剤

## AG アルファ® CF-01

### AG アルファ®CF-01 の除菌性能および抗菌性能評価結果

#### 1. 概要

- AG アルファ®CF-01\_2.0%水溶液は除菌活性値 2.0 以上の除菌※1 効果を示します。
- AG アルファ®CF-01\_2.0%水溶液を塗布後、60°Cで乾燥した試験片では、抗菌活性値 2.0 以上の高い抗菌※2 性能を示します。
- 一般的な消毒用エタノール（70%エタノール）は高い除菌効果を示しますが、有効成分は残存せず、抗菌効果は示しません。一方で、AG アルファ®CF-01\_2.0%水溶液は除菌性能に加え、有効成分が残存して高い抗菌効果を発揮します。

	AG アルファ® CF-01_2.0%水溶液	70%エタノール
除菌活性値※3	2.8	>5.2
抗菌活性値※4	> 2.6	0.0

※1 除菌：対象物から増殖可能な細菌数（生菌数）を有効量減少させること

※2 抗菌：製品の表面における細菌の増殖を抑制すること

※3 除菌活性値 2.0 以上で効果ありと判定

※4 抗菌活性値 2.0 以上で効果ありと判定

#### 2. 試験試料内容

	AG アルファ® CF-01_2.0%水溶液	70%エタノール
除菌活性値※3	CF-01 を純水で 2 重量% に希釈	99.5%エタノールを純水 で 70 重量%に希釈

### 3. 除菌性能評価

#### 3.1. 試験条件

- ・ 参考規格<sup>※5</sup>：  
「住宅用合成洗剤及び石けんの除菌活性試験方法（出典：日本石鹼洗剤工業会）」  
（参照：[https://jsda.org/w/web\\_jftc/koutorikyo/jyutakushiken070731.pdf](https://jsda.org/w/web_jftc/koutorikyo/jyutakushiken070731.pdf)）  
※5 基材条件や回収方法を一部変更しておりますが、試験系には影響ないものと考えます。
- ・ 試験菌種：黄色ブドウ球菌（*Staphylococcus aureus*, NBRC12732）
- ・ 試験菌液との接触時間：5分、25℃
- ・ 対照試料：0.05% tween80

#### 3.2. 手順

- ① 前々培養、前培養として、ニュートリエント寒天培地上で菌を培養しました。  
以下、すべて25℃雰囲気下で実施しました。
- ② 前培養をした菌を一白金耳採取し、1/2ニュートリエント培地を用いて、 $2.5 \times 10^8 \sim 12.5 \times 10^8$ 個/mlの菌液を調製しました。
- ③ 菌液1mlにモデル汚れ物質（30g/Lウシ血清アルブミン）1mlを加え混合し、これを試験菌液としました。
- ④ 試験片（直径2cmのPETフィルム）に試験菌液を0.01ml接種し、60分以内で乾燥させました。
- ⑤ 試験菌液が乾燥したら、試験試料0.1ml接種し、その5分後に不活化剤(SCDLP培地)10mlを接種して各サンプルと菌の作用を停止しました。試験試料1水準につきn=3で実施しました。
- ⑥ 不活化剤を投入後、攪拌、ピペッティングにより菌液を回収し、生菌数を測定しました。
- ⑦ 生菌数から除菌活性値を算出しました。
- ⑧ また別途不活化剤有効性確認試験を実施し、各サンプルに対して不活化剤が有効であることを確認しました。

以上

※ 製品に関するお問い合わせ先

東京営業所      Tel. 03-6285-2817      Fax. 03-6285-2818  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-6-1 菱和ビル 8F

大阪営業所      Tel. 06-6441-2414      Fax. 06-6441-4511  
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1-9-1 肥後橋センタービル 14F

HOME PAGE : <https://www.mgcwoodchem.com/>

E-mail : [wcm\\_AGalpha@mgcwoodchem.com](mailto:wcm_AGalpha@mgcwoodchem.com)（抗菌剤お問い合わせ用メールアドレス）